



2026 年 8 月 5 日

各 位

会 社 名 東海カーボン株式会社
代表者名 代表取締役社長 長坂 一
(コード番号：5301 東証プライム)
問 合 せ 先 執行役員財務経理部長 平井 直樹
(TEL. 03-3746-5100)

第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2026 年 5 月 13 日に公表いたしました 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）（2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記 1 の通りお知らせいたします。

併せて、2026 年 5 月 13 日に公表いたしました 2026 年 12 月期通期（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）の連結業績予想について、下記 2 の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想と実績値との差異について

（1）2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想と実績値との差異

（2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 （A）	170,400	10,300	9,500	5,000	23.87
今 回 実 績 （B）	173,728	15,102	14,845	7,235	34.40
増 減 額 （B－A）	3,328	4,802	5,345	2,235	
増 減 率 （％）	2.0	46.6	56.3	44.7	
（参考）前期第 2 四半期実績 （2025 年 12 月期第 2 四半期）	158,076	13,670	13,587	8,415	39.42

（注）2025 年 12 月期第 4 四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025 年 12 月期第 2 四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 差異の理由

カーボンブラックセグメント及びファインカーボンセグメントでの売上増や、スメルティング&ライニングセグメントをはじめとする各セグメントでのコスト削減等により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は前回発表予想を上回る結果となりました。

2. 2026年12月期通期連結業績予想の修正について

(1) 2026年12月期通期連結業績予想の修正

(2026年1月1日～2026年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	370,000	28,000	26,000	12,000	58.62
今 回 実 績 (B)	386,000	35,000	34,300	22,000	108.73
増 減 額 (B－A)	16,000	7,000	8,300	10,000	
増 減 率 (%)	4.3	25.0	31.9	83.3	
(参考) 前期実績 (2025年12月期)	322,960	25,850	26,312	20,078	94.05

(2) 修正の理由

カーボンブラックの対面業界である自動車及びタイヤ産業で需要の回復が見込まれるとともに、ファインカーボン事業におけるメモリ半導体市場向けソリッドSiCフォーカスリングにおきましても、引き続き好調な需要が持続する見通しとなりました。さらに、2026年5月13日に公表いたしました「株主還元方針の変更、配当予想の修正（増配）及び政策保有株式の縮減方針に関するお知らせ」に則った株式売却に伴う特別利益の発生等を織り込んだ結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の全項目において、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上